

# 保育者における感情演技，情動的知能と保育者効力感との関連

神谷 哲司<sup>1</sup>・戸田 有一<sup>2</sup>・上月 智晴<sup>3</sup>・諏訪 きぬ<sup>4</sup>

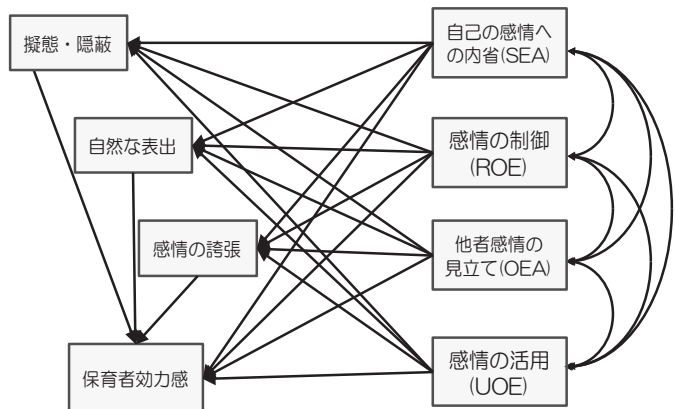
<sup>1</sup>東北大学大学院教育学研究科・<sup>2</sup>大阪教育大学教育学部・

<sup>3</sup>京都女子大学発達教育学部・<sup>4</sup>NPO 法人さやま保育サポートの会 保育サポート研究所)

【問題と目的】 近年，保育を感情労働の視点からとらえ直しての議論が活発で(諏訪,2011)，養成校の学生を対象とした研究(太田ほか，2008；野田,2011 など)や保護者支援に関する研究(中坪ほか,2010)などが進められている。そうした中，保育者自身の感情労働の頻度についての認識(以下，感情演技とする)を尋ねた研究では，感情演技と仕事の充実感との間に負の関連が見られ，感情演技が保育者の就労意識に関与している可能性が示唆されていた(神谷ほか,2011)。一方，感情労働は，自他の感情に関する情報処理にかかわるものであり，情動的知能と関連していることが示されている(Austin, Dore,& O'Donovan,2008)。そこで，本研究では，保育者にとって重要な概念である保育者効力感(一部，保育者 SE と表記)に着目し，感情演技や情動的知能との関連について検討する。

【方法】 予備調査を実施した後，研修会の会場等を利用し現職の保育者を対象にアンケート用紙を配布して実施した。回収された質問紙は計 344 名分(回収率 81.5%)であり，今回はそれらのうち欠損値のない正規職員のデータ 209 名分を分析に用いた。調査実施時期は 2011 年 10 月下旬～12 月上旬であった。質問項目は以下の通り。感情演技は，神谷ほか(2011)において尋ねていた 20 項目に，さらに項目を検討して作成された計 36 項目の感情演技尺度を用いた。情動的知能は，Wong, & Law(2002)の Emotional Intelligence Scale(16 項目)を用いた。これは，自己の感情への内省(SEA)，感情の制御(ROE)，他者感情のみとめ(OEA)，感情の活用(UOE)の 4 つの下位尺度からなる。保育者効力感には，三木・桜井(1998)の保育者効力感尺度を用いた。

【結果と考察】 感情演技は因子分析(最尤法，プロマックス解)によって 3 因子が抽出され，それぞれ，擬態・隠蔽による演技，自然な感情表出，感情の誇張と命名された。これら 3 つの下位尺度を媒介変数，情動的知能を独立変数，保育者効力感を従属変数としたモデルを想定した(図；内省変数の誤差項と感情演技 3 下位尺度の誤差項間の共分散は省略してある)。パス解析の結果(表)，情動的知能の保育者効力感に対する直接的効果では，感情の制御，他者感情の見立て，感情の活用が有意であり，中でも感情の活用が保育者効力感と比較的強く関連していることが示されていた。一方，感情演技を媒介する間接的な影響については，擬態・隠蔽による演技，並びに自然な表出において，情動的知能の自己の感情への内省や感情の制御との関連が見られていたが，感情演技と保育者効力感との関連においては，感情の誇張が高いほど保育者効力感が低いという弱い負の関係が見られていたのみであった。概して，情動的知能は，自己感情への内省や感情の制御が感情演技に関連していたものの，感情演技と保育者効力感との関連はそれほど明確ではなく，むしろ，感情の活用を中心とした情動的知能が直接的に保育者効力感に影響を及ぼしている可能性が示唆されたと言えよう。



※内生変数の誤差項と感情演技3下位尺度の誤差項間の共分散は省略

図 情動的知能と感情演技，保育者効力感モデル

表 情動的知能，感情演技と保育者効力感の関連(標準化係数)

	感情演技		
	擬態・隠蔽	自然な表出	感情の誇張
感情演技 ← EI_SEA	-.179 *	.186 *	-.085
感情演技 ← EI_ROE	-.141 †	-.165 *	-.117
感情演技 ← EI_OEA	.024	.071	.006
感情演技 ← EI_UOE	-.016	.052	-.042
保育者SE ← 感情演技	-.064	.110 †	-.140 *
保育者SE ← EI_SEA	.087		
保育者SE ← EI_ROE	.131 *		
保育者SE ← EI_OEA	.147 *		
保育者SE ← EI_UOE	.355 ***		
$R^2$ 擬態・隠蔽	.070		
自然な表出	.049		
感情の誇張	.035		
保育者SE	.354		

註) 外生変数間の共分散ならびに感情演技下位尺度間の誤差共分散の値については省略